

令和3年8月の大雨に伴う 有明海・八代海の水質環境調査速報

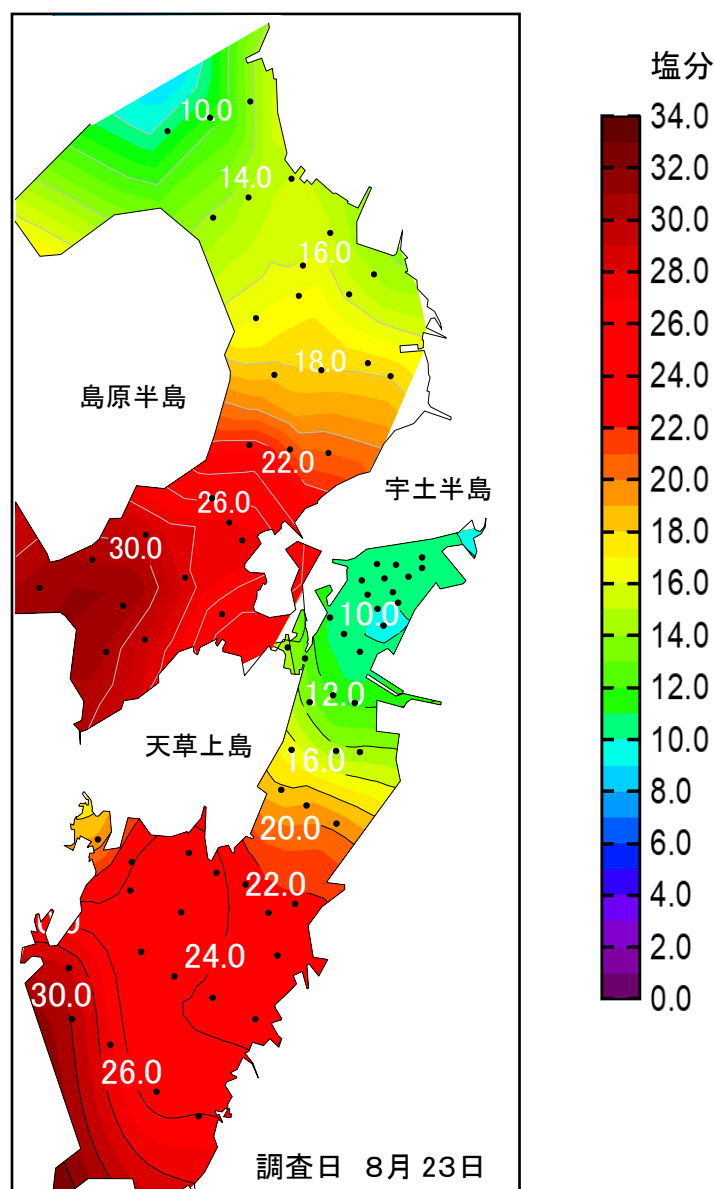


図 有明海・八代海の塩分分布(表層)

熊本県水産研究センター

浅海干潟研究部、技術室、調査船ひのくに、調査船あさみ、調査船みやづ

令和3年8月の大雨の影響を把握するため、8月23日に有明海と八代海で環境調査を実施しました。塩分濃度の分布状況を別紙に示します。

有明海における海水の塩分濃度は、表層では荒尾市から宇土市沿岸にかけて10~26と、塩分が低い傾向にあり、外海に近い湾口部では30とほぼ平常値を示しています。

八代海における海水の塩分濃度は、表層で湾奥部から中部海域において、10~20と塩分が低い傾向であり、南部海域では26~30とほぼ平常値を示しています。

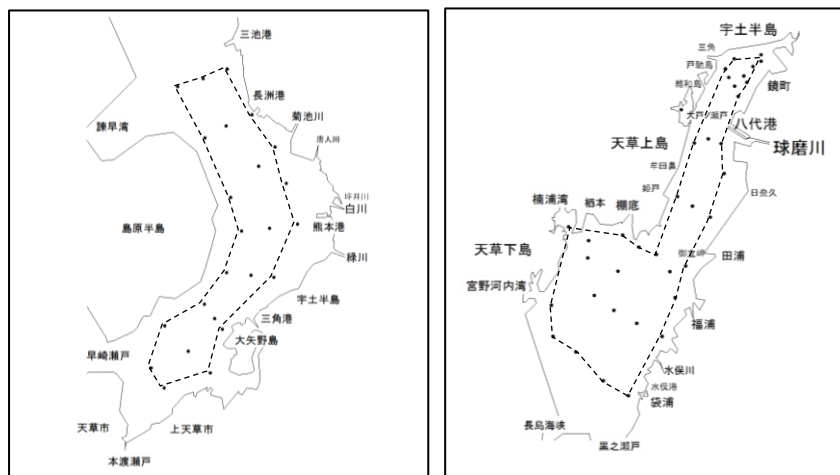
【調査内容】

- 1 調査日時 有明海：令和3年（2021年）8月23日（月） 8:00~14:00
八代海：令和3年（2021年）8月23日（月） 7:00~13:00
- 2 調査点 有明海：30調査点、八代海：45調査点
- 3 調査方法 調査船を用いて、多項目水質計による水質の鉛直調査
- 4 使用船舶 調査船ひのくに、調査船あさみ、調査船みやづ
- 5 調査機器 多項目水質計（JFEアドバンテック社製 AAQ-RINKO）
- 6 調査項目 下表のとおり

測定項目	単位	
塩分	単位なし	(‰、g/Lとほぼ同値)

7 調査結果のデータ処理

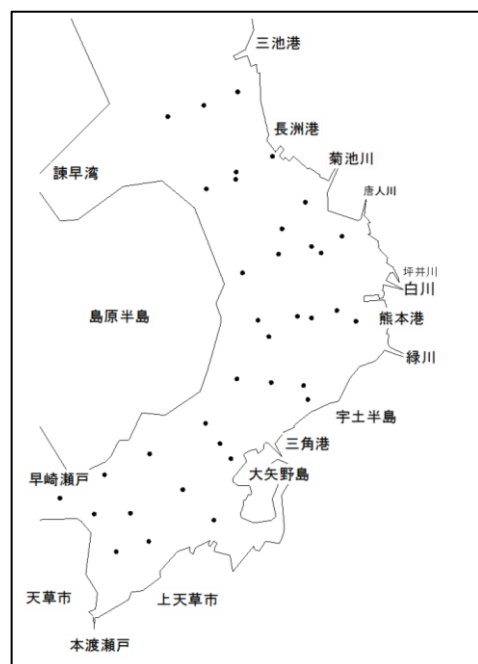
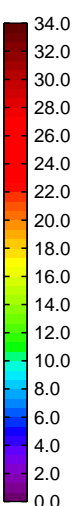
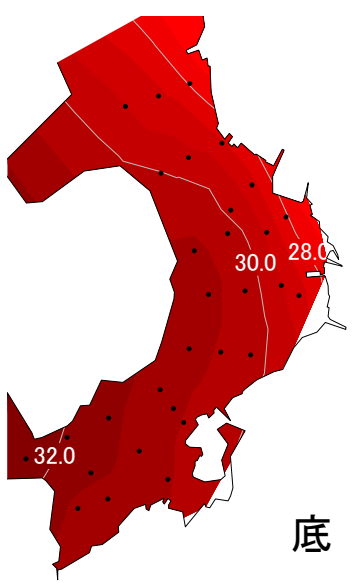
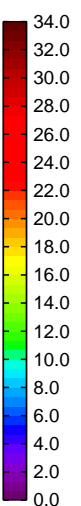
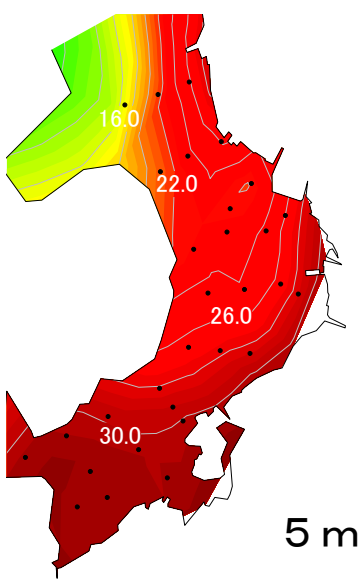
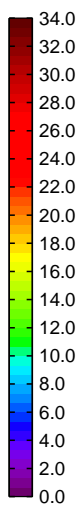
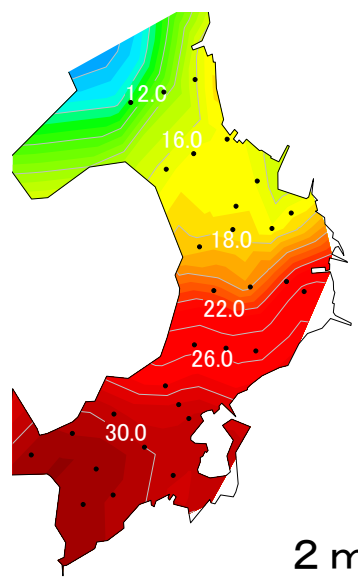
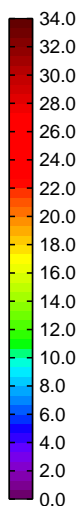
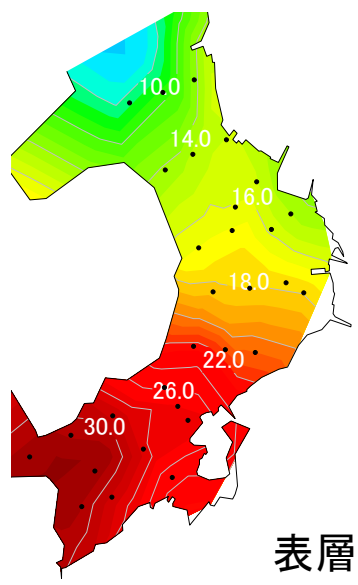
水深0, 2, 5m及び底層について、塩分の平面分布図を作成しました。



左図の調査点間は近傍のデータで補間処理されますが、点線の外側は、補外処理のため、調査点から離れるに従い、実測値と大きく異なる場合があります。

8 その他

速報ですので、後日データが修正、補足される場合があります。



塩分の水深別分布 (有明海)

